

学科 学年	全学科 1年	科目 分類	地 理 Geography	講義 必修	H19 通年 2単位	学習教育 目標 A	担当	佐藤崇徳 SATO Takanori
概 要	本講義は、地表面に展開するさまざまな自然的・人文社会的事象を科学的にとらえ、その地域的特色を理解することによって、現代の国際社会に生きていく資質を養うことを目的とする。本講義では、自然地理学・人文地理学および地誌学に関するいくつかの事柄を取り上げて学習することを通して、地理的な見方・考え方を培っていく。授業では地図作業などの活動も適宜取り入れる。							
科目目標 (到達目標)	人文地理学（とくに経済地理学）の意義および基礎的事項を理解する。 自然地理学（地形学，気候学）の意義および基礎的事項を理解する。 スイスおよびインドに関する事例学習を通して，地誌的な地域のとらえ方を理解する。							
教科書 器材等	「地理B」(東京書籍)，「高等地図帳」(二宮書店)，「データブック オブ ザ ワールド 2007年版」(二宮書店)，1:25000地形図「三島」，1:50000地形図「沼津」，このほか適宜プリントを配布する。							
評価の基準と 方法	定期試験の成績累計（85%）および地図作業・レポートなどの課題の提出状況（15%）により評価する。							
関連科目	なし							
授業計画								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第1回		オリエンテーション —高専で学ぶ地理—						
第2回		産業の立地を考える，チューネンの農業立地論						
第3回		現代における農業立地（1）						
第4回		現代における農業立地（2）						
第5回		ウェーバーの工業立地論						
第6回		現代における工業立地（1）						
第7回		現代における工業立地（2）						
第8回		【定期試験】						
第9回		気候のとらえ方						
第10回		気温と降水量，大気の大循環						
第11回		気候の特徴をつかむ，世界の気候区分						
第12回		地形のとらえ方，世界の大地形とプレートテクトニクス						
第13回		日本付近のプレートテクトニクスと地震						
第14回		活断層と地震防災						
第15回		【定期試験】						
第16回		地形図から地形を読む						
第17回		地形と土地利用景観，勾配						
第18回		平野の地形を考える（1）						
第19回		平野の地形を考える（2）						
第20回		平野の地形を考える（3）						
第21回		第四紀の環境変遷と地形発達						
第22回		【定期試験】						
第23回		スイス地誌（1）						
第24回		スイス地誌（2）						
第25回		スイス地誌（3）						
第26回		インド地誌（1）						
第27回		インド地誌（2）						
第28回		インド地誌（3）						
第29回		インド地誌（4）						
第30回		【定期試験】						
オフィス アワー		第1回の授業（オリエンテーション）において案内する。 基本的に，水曜日を除く放課後は教員室に在室している。						
授業アンケート への対応		高専で教養として地理をはじめとする人文・社会科学を学ぶことの意義を授業において強調したい。また，板書計画を見直すとともにプリント等の併用を一層増やしたい。						
備 考		関連情報のURL http://user.numazu-ct.ac.jp/~tsato/class/						
更新履歴								